



2021年9月期第3四半期
決算ハイライト

株式会社アンビスホールディングス

2021年8月12日

21年9月期通期業績予想の上方修正

(第3四半期累計実績) 営業利益

25.1億円

(修正後予想対比進捗率 : 75.0%)

(第3四半期累計実績) 当期純利益

18.0億円

(修正後予想対比進捗率 : 75.5%)

(上方修正後通期予想) 営業利益

33.5億円

(修正前予想対比 : +7.3億円)

(上方修正後通期予想) 当期純利益

23.9億円

(修正前予想対比 : +5.3億円)

- 既存施設の稼働率が上半期に続き、安定稼働の目安である80~85%を上回る過去最高水準（87.8%）で推移し、新規施設の立ち上がりも順調であることを踏まえ、第3四半期累計の業績は修正前予想対比順調に推移
 - ✓ 売上高：107.2億円（修正前予想対比進捗率74.4%）
 - ✓ 営業利益：25.1億円（修正前予想対比進捗率96.0%）
 - ✓ 当期純利益：18.0億円（修正前予想対比進捗率97.3%）
- 第3四半期までの業績の上振れを織り込み、21年9月期通期業績予想を2月1日公表の修正予想から更に上方修正
 - ✓ 今期開設施設の立ち上がりが順調であること及び稼働率に合わせた人員管理が大きく寄与
- 第3四半期までの新規開設は、計画通り12施設の開設及び1施設の増床を実施し、21年6月末時点において、41施設（定員1,925名）を運営
 - ✓ 21年9月期：7月に福島県に開設し、施設数は42施設（定員1,977名）で着地予定。第4四半期は、新規開設を1施設（福島）に限定し、運営体制の強化充実に注力する方針
 - ✓ 22年9月期：既に11施設の開設を公表し、3ヶ年計画で掲げている年間10施設程度の開設目安を達成。今後も開設確定次第、順次公表予定
- 新型コロナ禍においても、感染者数を最小限に抑え、看護師中心の強固な医療体制を整備することで医療依存度の高い患者の受け皿として地域完結型医療の実現に向けて微力ながら貢献
 - ✓ 新規開設の難易度が高い地方の開設を積極的に進め、東北地方全県において施設を展開することに成功

注：

当期より控除対象外消費税等の会計処理に係る会計方針を変更したため、次頁以降の20年9月期の財務数値は当該会計方針の変更を遡及適用
詳細は、21年9月期第3四半期決算短信添付資料「2.四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」を参照

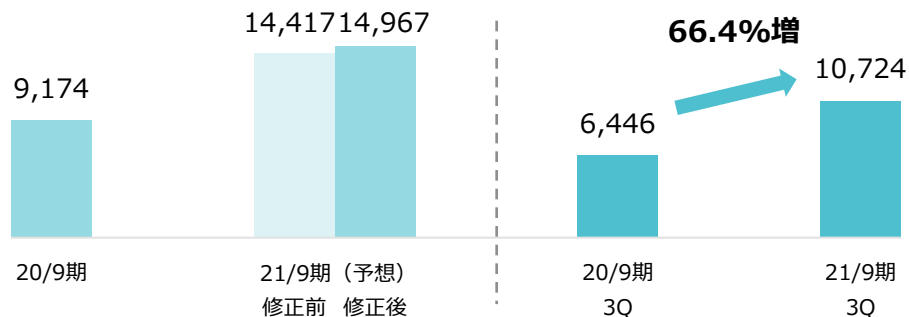
第3四半期実績及び通期予想に対する進捗

- 前年同期末以降、定員数は約1.7倍増加し、売上高も比例して大幅に増加
- また、新型コロナ対策を踏まえた増員体制を敷きつつ、稼働率に合わせた人員管理の結果、確りと利益を確保し、営業利益及び当期純利益は前年同期比で倍増

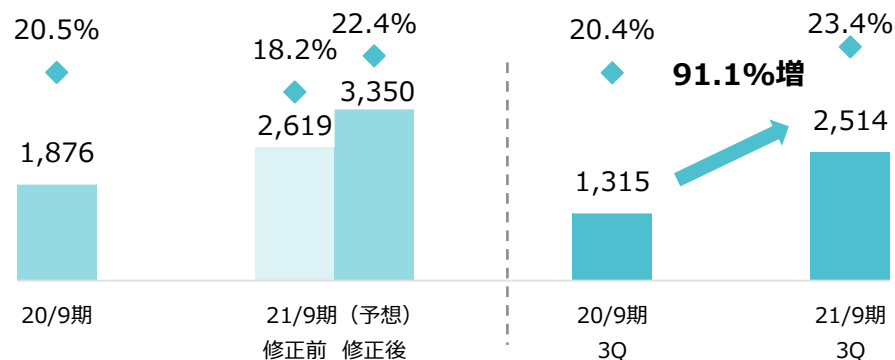
第3四半期実績及び通期予想に対する進捗

売上高

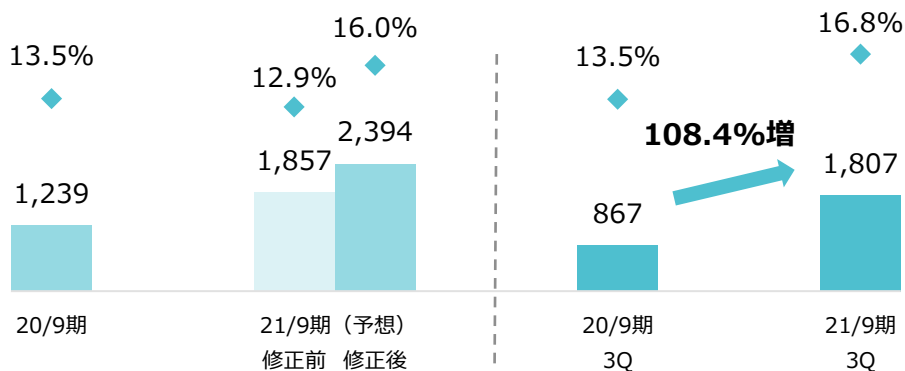
(百万円 / %)



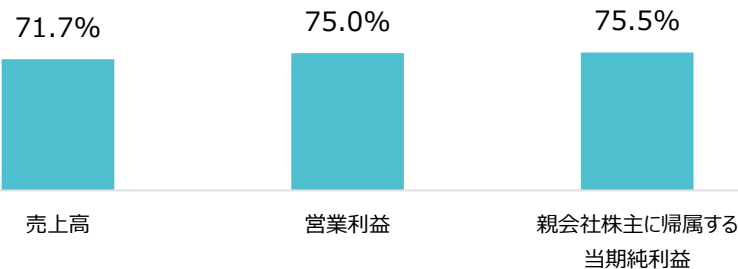
営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



修正後予想対比進捗率



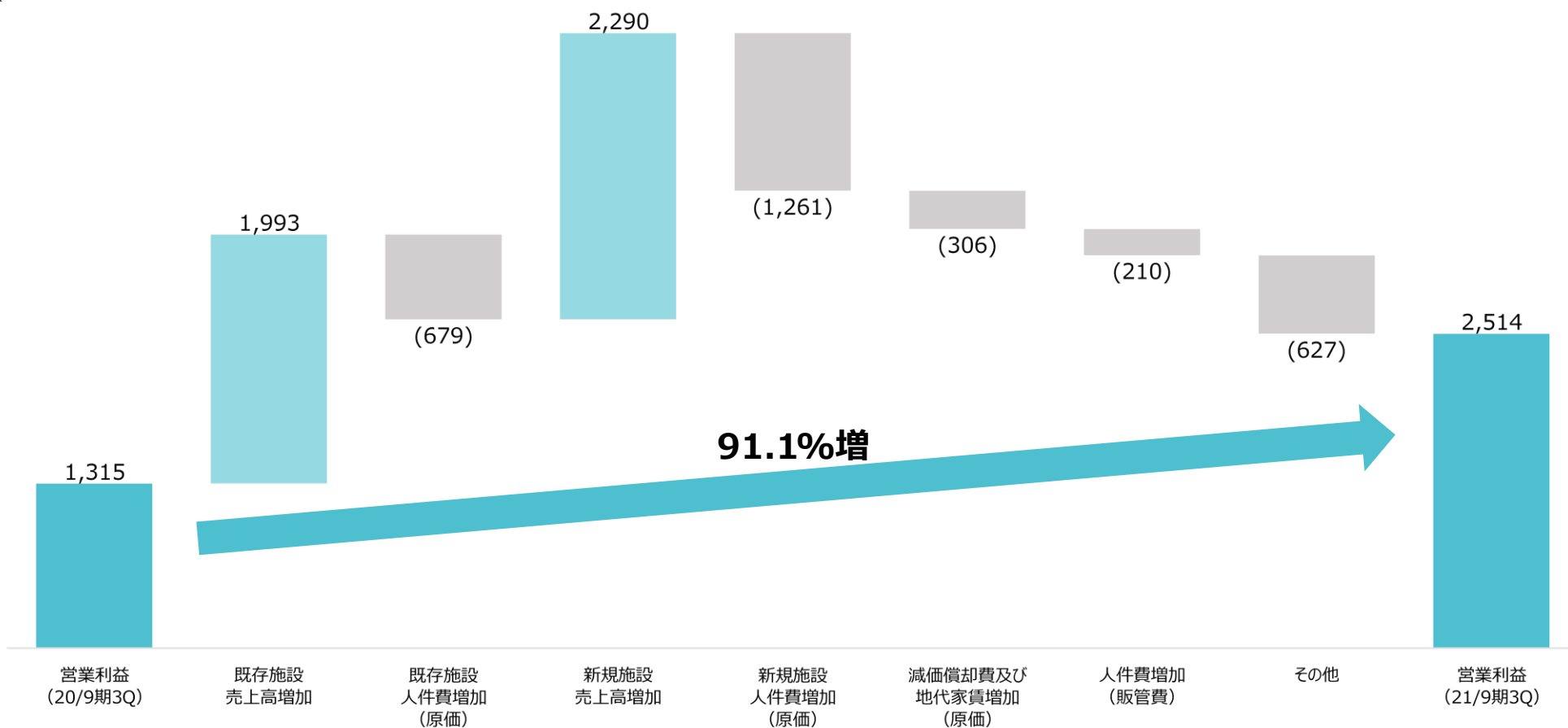
◆ : 売上高比

第3四半期業績 – 営業利益推移

- 既存施設は安定稼働の目安（80～85%）を上回る87.8%で推移し、新規施設の稼働率（50%～55%）⁽¹⁾も引き続き順調に推移
- 施設数・定員数の増加に伴い、営業利益は比例して増加（20年6月末：26施設、21年6月末：41施設）

営業利益推移（20年9月期第3四半期 – 21年9月期第3四半期）

(百万円)



注：

1. 新規施設：20/9期第3四半期末にて未開設の施設（後頁同様） / 稼働率：中央値（6月末時点）

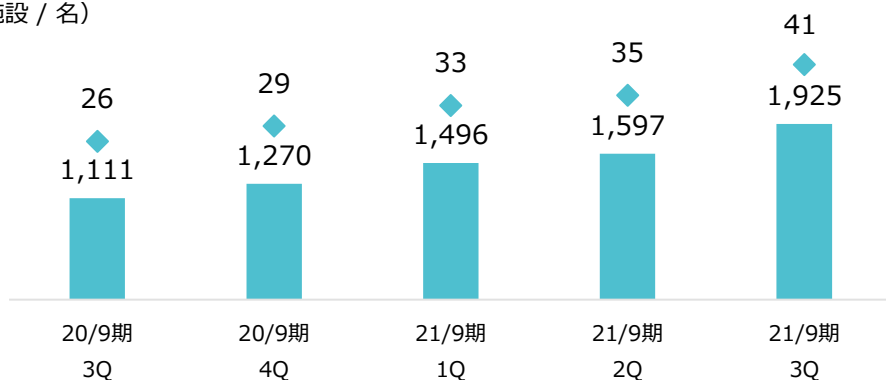
四半期業績推移 – 主要財務指標

- 施設数・定員数の増加に伴い売上高は順調に推移し、四半期営業利益は初の10億円に到達
- 新型コロナ対策を継続しつつも、適切な人員管理を含めた運営体制の強化により、高水準の利益率を維持

直近1年間四半期業績推移

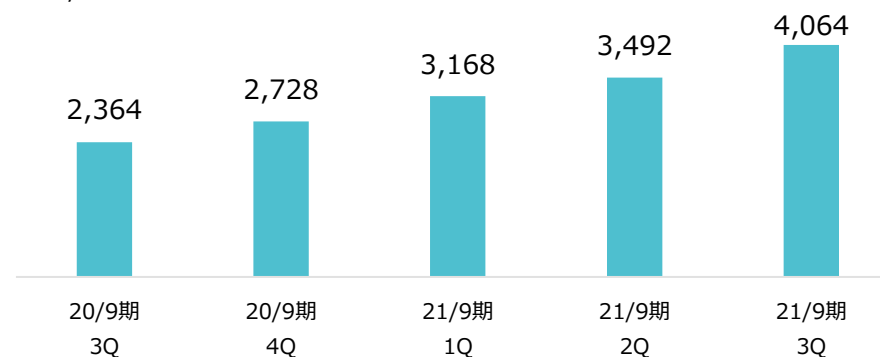
施設数 / 定員数

(施設 / 名)

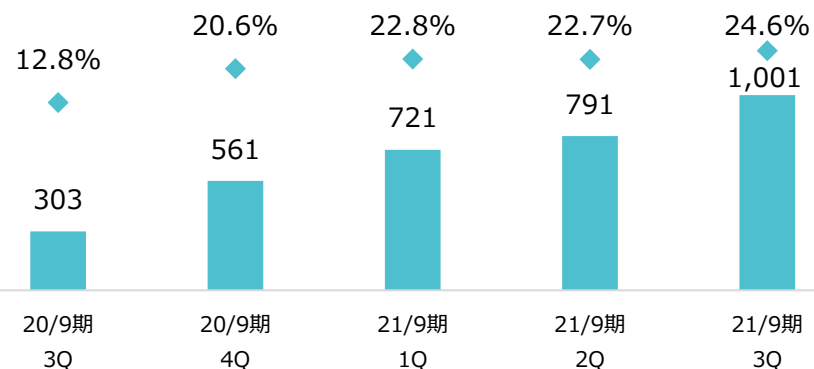


売上高

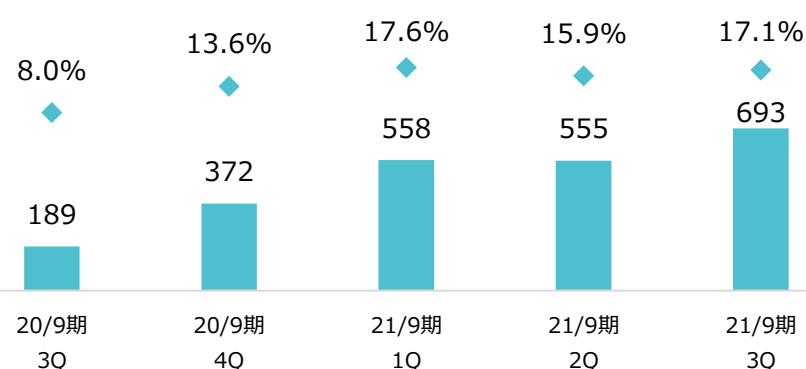
(百万円 / %)



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



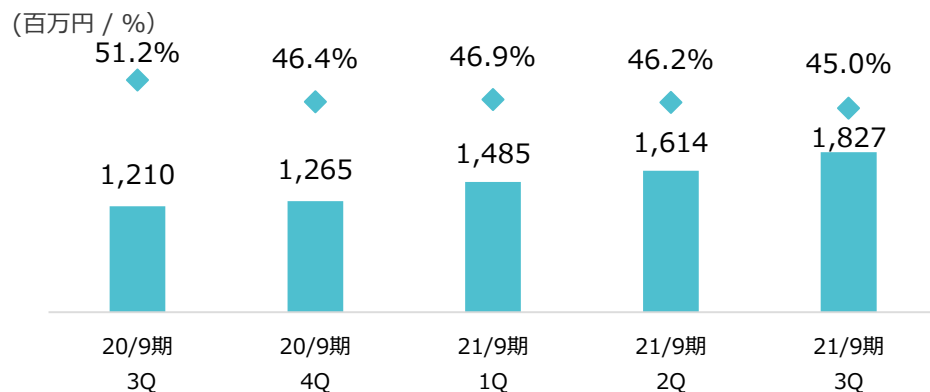
◆ : 売上高比

四半期業績推移 - 主要売上原価 / 販管費

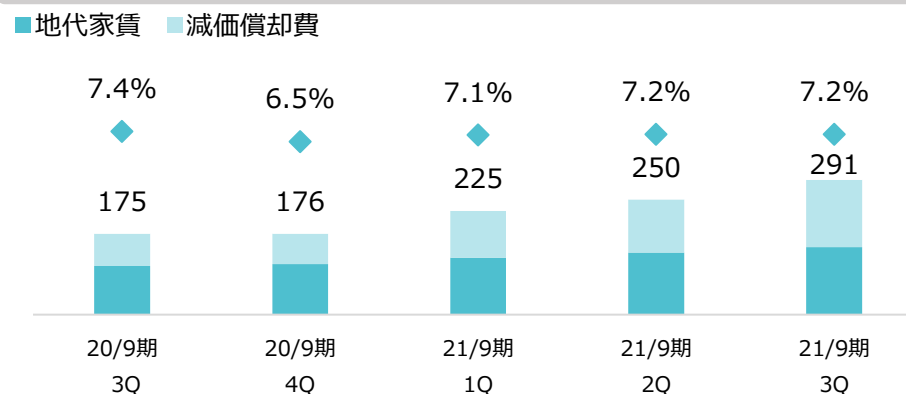
- 看護師・介護士に関する人件費率（売上原価）は40%台後半を維持
- 人件費及び採用費は施設数増加に伴い増加傾向だが、売上高比では安定的に推移

直近1年間四半期業績推移

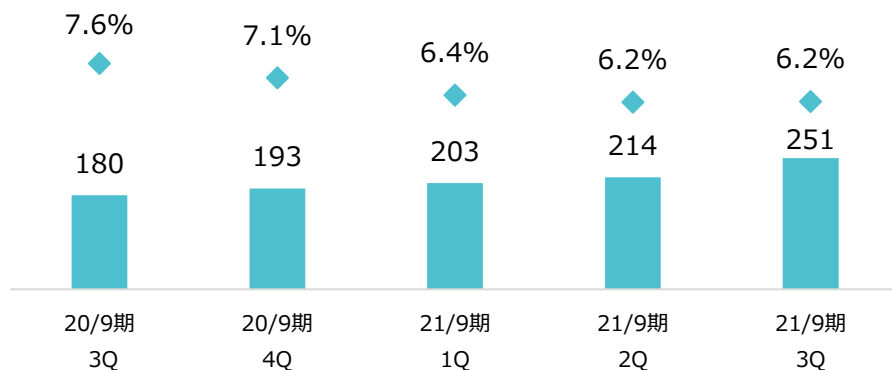
人件費（売上原価）



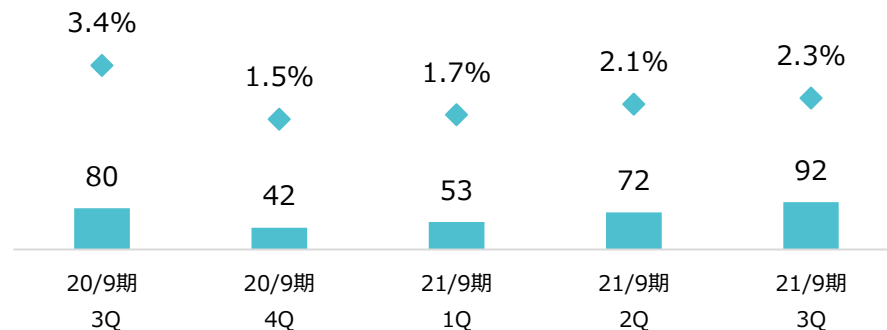
地代家賃及び減価償却費（売上原価）



人件費（販管費）



採用費（販管費）



◆ : 売上高比

- 21年3月の新株式発行により、自己資本比率は50%超に改善し、現金及び預金残高は大幅に増加
- 建物及び構築物残高は引き続き増加傾向にある一方、手許資金の活用により借入金の伸びは限定的

財政状態概要

(百万円 / %)	19/9末	20/9末	21/6末	対20/9末 増減
資産	6,997	16,519	29,377	+77.8%
現金及び預金	452	3,335	10,418	+212.3%
建物及び構築物（純額）	753	3,548	7,976	+124.8%
負債	5,926	11,264	13,862	+23.1%
借入金	2,080	6,250	7,913	+26.6%
純資産	1,070	5,255	15,515	+195.2%
自己資本比率	15.3%	31.8%	52.8%	+21.0pt

- 4月、5月に開設した本郷（共同運営）、金沢文庫（大型施設）は順調に進捗
- 22年9月期は首都圏の開設比率を高め、ドミナント形成を加速する方針

直近のトピック

浜松、福島	県内初開設
本郷	他の介護事業者との初の共同運営
金沢文庫	定員80名の大型施設（全体で2番目の規模）

21年4月以降の開設計画

開設時期	開設場所	総定員数 (名)
21年4月上旬	本厚木、山形Ⅱ	103
21年4月中旬	金沢文庫、本郷（共同運営）	122 ⁽¹⁾
21年5月上旬	蘇我、浜松	103
21年7月上旬	福島	52
21年10月上旬	瑞江、越谷、柏	158
21年11月上旬	上尾、青森、東大宮	154
22年2月上旬	大和、平和台	101
22年4月上旬	つくば、上越、南流山	157

注：

1. 本郷の定員数42名のうち、開設後半年は28名定員で運営予定

全国の医心館



計53施設
定員2,547名予定
(22年4月時点)



参考資料

Amvis 2023目標

施設数 / 定員数

60施設 / 2,892名
(中長期目標 : 100施設 / 5,000名)

21年9月末 (予想) : 42施設 / 1,977名
20年9月末 (実績) : 29施設 / 1,270名

売上高

244億円
(中長期目標 : 450億円)

21年9月期 (予想) : 149億円
20年9月期 (実績) : 91億円

営業利益

51億円
(中長期目標 : 100億円)

21年9月期 (予想) : 33億円
20年9月期 (実績) : 18億円

当期純利益 年平均成長率

30%台後半
(中長期目標 : 20%台)

18年9月期 - 21年9月期 (予想) : 100%超

注 :

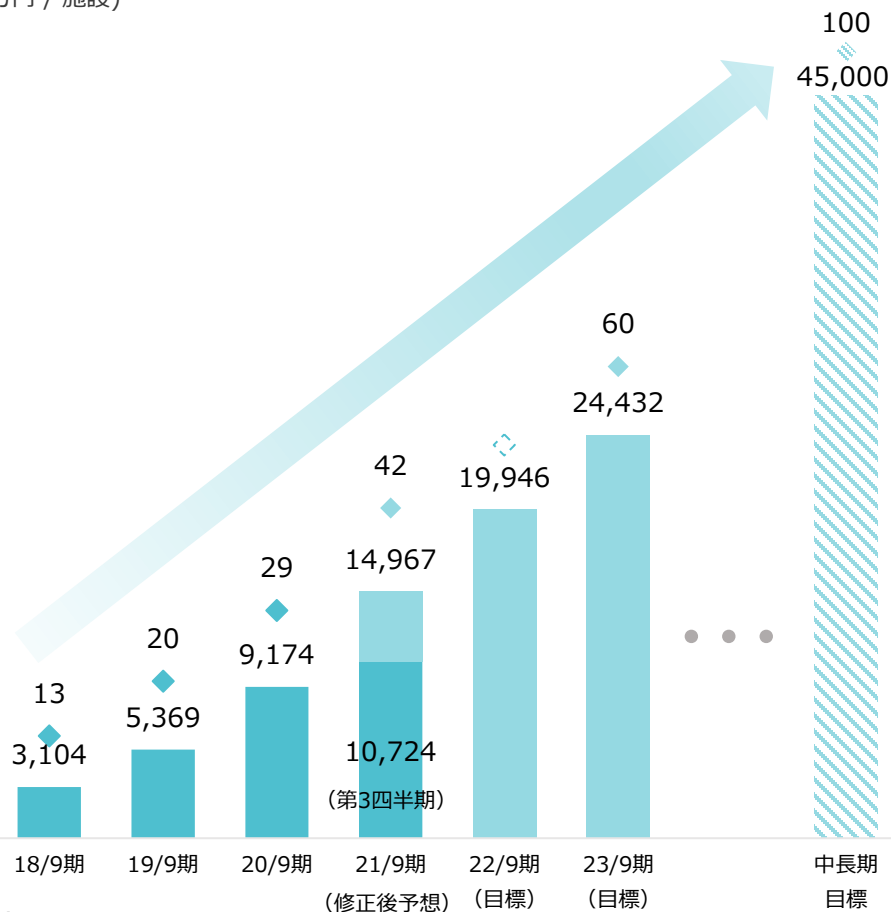
1. Amvis 2023目標は2020年11月に公表した数値から変更なし

Amvis 2023 – 売上高 / 営業利益

- 売上高 / 営業利益は、過年度同様、順調に推移し、23年9月期まで高成長を維持・加速予定
- 新型コロナ禍においても、中長期目標を早期に実現するべく、運営体制の強化充実に注力

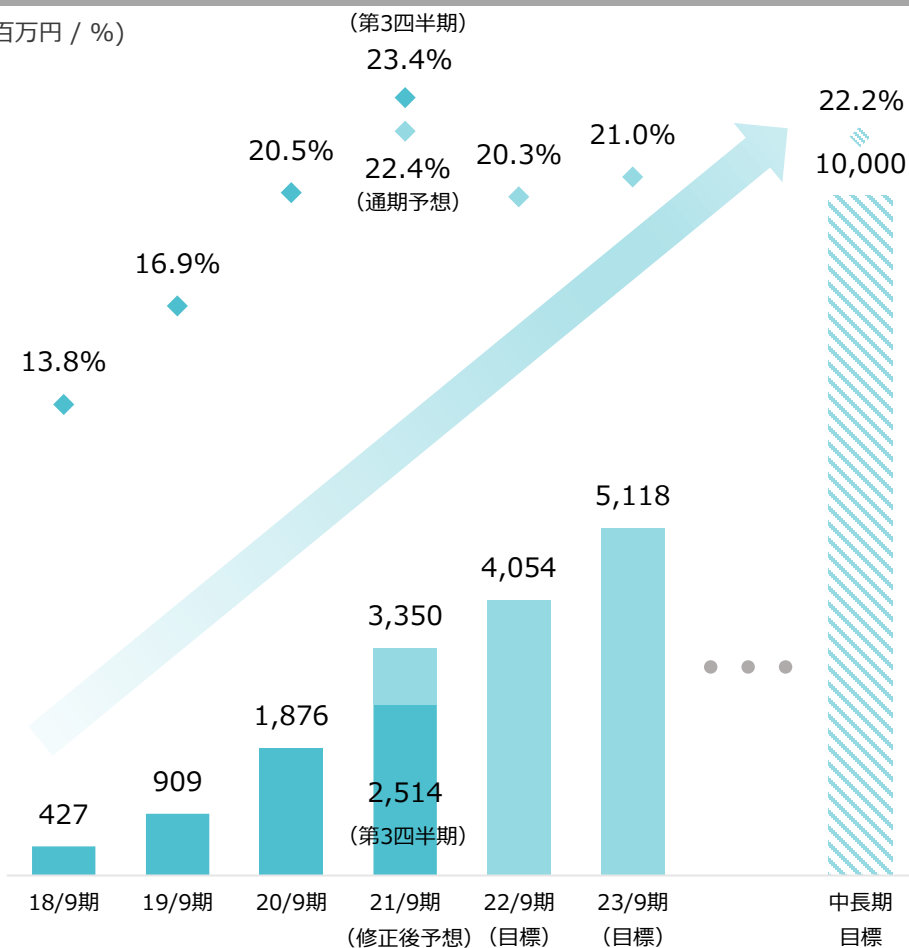
売上高 / 施設数の推移

(百万円 / 施設)



営業利益 / 営業利益率の推移

(百万円 / %)



注：

1. 22/9期、23/9期 (目標) は2020年11月に公表した数値から変更なし

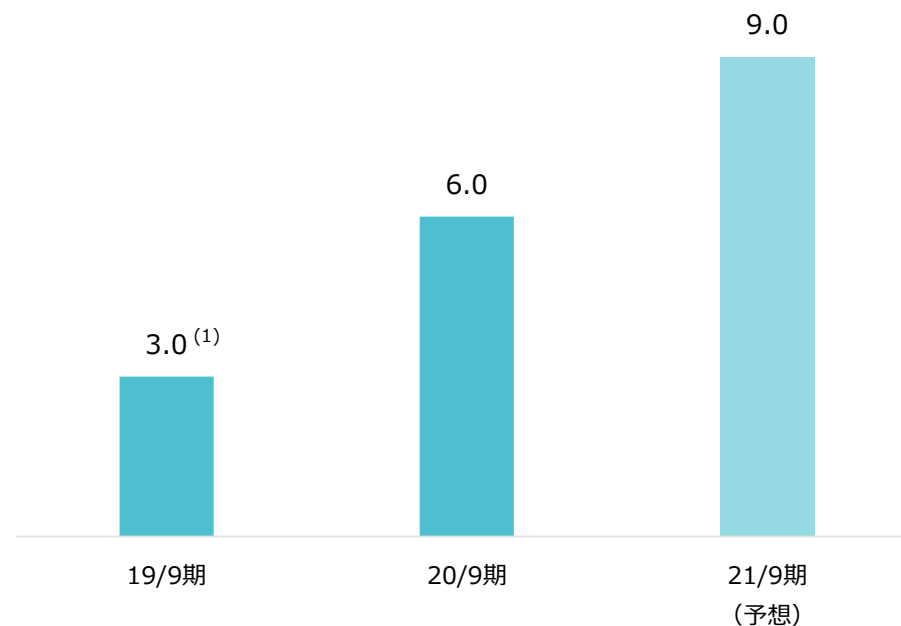
- 21年9月期の1株当たり配当金は前年度対比3円増配の9円を予想
- 引き続き成長の加速化と株主還元のバランスを考慮し、企業価値の向上を企図

株主還元基本方針

- 株主に対する利益配分を重要な経営課題として捉え、医心館事業及びその周辺領域への事業展開と経営基盤の強化を図るための内部留保資金を確保しつつ、株主還元を実施し、企業価値の向上を企図
 - 株主配当：安定的な株主配当を基本とし、市場環境、規制動向、財務健全性等、総合的に勘案し、年1回の期末配当を実施

1株当たり配当金の推移

(円)



注：
1. 20年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っているため、分割を考慮しない場合の配当金は6.0円

本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、当該記述のために、一定の前提を使用しています。当該記述または前提は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ございますが、詳細は、当社の決算短信、有価証券報告書をご参照下さい。なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

【お問い合わせ先】

株式会社アンビスホールディングス IR課

電話：03-6262-5085 / Email：ir_contact@amvis.co.jp